

教科書用語の変化

先日、ある出版社の方とお話をしたときに、教科書などで使われる用語の変化が話題になりました。近年、自然科学、社会科学などの世界で、用語の見直しが進んできています。どの用語が最適かは様々な考え方があると思いますが、教科書で使われる用語が一つの目安になっています。今号はその一部を紹介します。

教科書以外では、変更前の用語もまだ使われているようです。

(1) 自然科学分野

変更前	変更後
イオン反応式	イオンを含む反応式
イオン式	化学式
気体→固体（昇華）	凝華
価標	用いない（「線」や「結合」などに）
希ガス	貴ガス
共有結晶	共有結合の結晶
六方最密充填	六方最密構造
標準状態	0℃, 1.013×10 ⁵ Pa で 1L の気体
アルデヒド基	ホルミン基
活性化状態	遷移状態
ケトン基	カルボニル基
光学異性体	鏡像異性体

両性元素	両性金属，両性酸化物などのように使う
化合	使わない （化合物は使用）
熱化学方程式	エンタルピー， エントロピー
+極， -極（電気分解の極）	陽極， 陰極
m/秒， m/分， km/時	m/s m/min km/h
l（リットル）	L
音源または発音体	音源
花びら	花卉
「脂肪はグリセリンと脂肪酸に分解される」	「脂肪はモノグリセリドと脂肪酸に分解される」
優性形質， 劣性形質	顕性の形質， 潜性の形質
被子植物は「胚珠が子房で包まれている植物」	「胚珠が子房の中にある植物」
卵子	卵
ふたば	子葉

リアス式海岸	リアス海岸
浸食	侵食
揚子江気団	固有の気団としない
第四紀の始まりは約 180 万年前	約 260 万年前

中生代の始まりは 2 億 4000 万年前	2 億 5000 万年前
新生代の始まりは 6500 万年前	6600 万年前
哺乳類は、は虫類から進化	両生類から哺乳類とは虫類が分かれ、は虫類から変化したのが鳥類
モンモリロナイト	スメクタイト
黒色片岩	片岩
斜方輝石	直方輝石
紫蘇輝石	頑火輝石もしくは鉄珪輝石
第三紀	古第三紀と新第三紀に分けて表示
洪積台地	廃止
沖積世	完新世
洪積世	更新世
地層名称区分 層群 累層 部層	「累層」は「層」に
最古の人類 約 440 万年前のラミダス猿人	約 700 万年前の猿人、トゥーマイ猿人

用語ではありませんが、いちばん長い河川は現在はナイル川の 6,695km となっていますが、今後の調査で変更になる可能性があるようです。

(2) 歴史分野

歴史分野は多くの変更がなされています。ここに挙げたものはその一部です。

- 1 鎌倉幕府の成立 1192 年→**1185 年へ**
- 2 聖徳太子 厩戸皇子（聖徳太子）へ。肖像画に疑問があり、載っていないか「伝聖徳太子像」
憲法十七条は聖徳太子が制定した**とされる**
- 3 大化の改新 645 年 大化の改新→**乙巳(いっし)の変** 645 年が **646 年**に変更
- 4 関ヶ原の戦い 西軍の大將が 石田三成→毛利輝元 に変更

- 5 島原の乱→島原・天草一揆
 - 6 応仁の乱→応仁・文明の乱 大半は文明だから
 - 7 西南の役→西南戦争 農民などを使わなかったから
 - 8 縄文時代 狩猟生活→農耕・定住生活 13000～2300 年前
 - 9 弥生時代 はじまりは 紀元前 3 世紀→紀元前 10 世紀
 - 10 縄文式土器→縄文土器 弥生式土器→弥生土器 細かい分類の時には 式土器という
 - 11 最古の貨幣 和同開珎→富本(ふほん)銭
 - 12 鉄砲伝来 「ポルトガル人を乗せた中国人倭寇の船が種子島に漂着した」
 - 13 土農工商が 2000 年から消えた 「武士」と「町人・百姓」に
 - 14 鎖国 →「幕府の対外政策」に 実際に国を閉ざしたわけではなく貿易統制を行っていた
 - 15 原人 →日本に原人はいなかった 前期旧石器時代の遺跡は存在しない
 - 16 踏み絵→絵踏 踏ませる道具を踏絵に
 - 17 仁徳天皇陵 →大仙古墳(仁徳陵古墳) 仁徳天皇の没年と合わない
 - 18 邪馬台国→邪馬台国連合
 - 19 大和朝廷→ヤマト政権
 - 20 元寇→モンゴルの襲来
 - 21 帰化人→渡来人
 - 22 源頼朝, 足利尊氏像, 北条時宗, 武田信玄像, 西郷隆盛像, ザビエル像も疑問または間違いで肖像画の変更, 「と伝えられる肖像画」, 掲載されない など
 - 23 遣唐使の廃止→遣唐使の中止または停止
 - 24 秀吉「農民の子」→「百姓・農民の出身」「身分の低い武士の子」「身分の低い家の出身」
 - 25 リンカーン→リンカン ルーズベルト→ローズベルト マゼラン→マガリャンイス
- ※ 外国人の読み方や, 国名や外国地名変更, その読み方の変更はとても多いようです。

(3) 地図の記号

地図(主に国土地理院の 2 万 5000 分の 1 地形図)の記号も時代とともに変化しています。ここで、細かく紹介するスペースがありませんが次のものが 25000 分の 1 地形図から消えています。

電報・電話局, 銀行, 塩田, 牧場, 工場, 桑畑, 採石地, 古戦場, 都道府県庁
また時代とともに変化した記号(例えば温泉)や, 新たにつくられた記号(例えば老人ホーム, 風車, 電子基準点など)もあります。



2003 年以前の温泉記号 現在の温泉記号

主な参考文献

「こんなに変わった! 小中高・教科書の新常識」2018 青春出版社(特に(2)の部分)
日本化学会化学用語検討小委員会, 2019, 高等学校化学で用いる用語に関する提案(2)への反応。
化学と教育, 67(1)
そのほか, 国土地理院や教科書出版会社の Web サイトなどを参考にしました。